

施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	5・1・1							
② 施策名	自然環境の保全と活用	評価担当課	建設課	総合戦略	行政経営	過疎	○	-
③ 目標	豊かで住みよい環境に満足している町民の割合							
④ ⑤ 現状と課題	<p>◆ 本町は273.30km²と広大な面積を持ち、その約7割を山林が占め、阿武隈川やその支流域は、多くの優れた自然資源の宝庫となっています。この豊かな自然環境は、人々の生活に潤いを与えるだけでなく、自然とのふれあい、学習、レクリエーションの場としても様々な役割を担っており、保全に努めていく必要があります。</p> <p>◆ 潤いのある生活を営んでいくためには、公園・緑地などの身近な緑の適正な維持管理や、良好な景観の保全と創出が求められています。</p> <p>◆ ごみの減量化・再資源化や環境美化などについては、これまでも様々な取組みが行われてきましたが、引き続き町民・事業者・行政がそれぞれの役割を明確にしながら、より一層環境に配慮した取組みを推進していくことが望まれます。</p>			施策の内容	豊かな自然を活かした河川公園や都市公園を適正に管理するとともに、住民ニーズに応じた新たな公園の整備や、「百々石公園」等の既存公園の再整備により、自然環境の保全と親しみを持って自然とふれあえる場づくりを進めます。			

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
不動尊公園利用者数	人	9,661	9,800	9,800	10,000	15,000	25,000	1.48	25,000	0.89
			12,188	8,489	20,316	22,150		0.89		
								#DIV/0!		
<p>まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI</p>										
不動尊公園利用者数	人	9,661	9,800	9,800	10,000	15,000	25,000	1.48	25,000	0.89
			12,188	8,489	20,316	22,150		0.89		
								#DIV/0!		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	21,587	15,361	13,662	23,404	20,312	29,819

取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	○	<p>【◎】おおむね順調</p> <p>【○】いっそうの推進が必要</p> <p>【△】抜本的に見直しや改善が必要</p>
⑩ 今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業別	6	事業	平均点
●成果	A	3事業 (50.0%)	1.0
	B	事業 (0.0%)	
	C	2事業 (33.3%)	
	未実施	1事業 (16.7%)	
●コスト	A	4事業 (66.7%)	1.3
	B	事業 (0.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
	未実施	2事業 (33.3%)	
●進捗率	A	4事業 (66.7%)	1.3
	B	事業 (0.0%)	
	C	1事業 (16.7%)	
	未実施	1事業 (16.7%)	
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	拡大	<p>【説明欄】</p> <p>R5年度において、百々石公園再整備事業に関する検討を行い、R6年度に実施する方向で進める。他事業は、維持管理が主であるが、引き続き適正な管理を行う。</p>
委員会評価	拡大	<p>【委員会意見欄】</p> <p>担当課評価のとおり。</p>

施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	5・1・2	評価担当課	町民税務課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	資源循環利用の推進			-	-	-
③ 目標	豊かで住みよい環境に満足している町民の割合					
④ ⑤ 現状と課題	<p>◆ 本町は273.30km²と広大な面積を持ち、その約7割を山林が占め、阿武隈川やその支流は、多くの優れた自然資源の宝庫となっています。この豊かな自然環境は、人々の生活に潤いを与えるだけでなく、自然とのふれあい、学習、レクリエーションの場としても様々な役割を担っており、保全に努めていく必要があります。</p> <p>◆ 潤いのある生活を営んでいくためには、公園・緑地などの身近な緑の適正な維持管理や、良好な景観の保全と創出が求められています。</p> <p>◆ ごみの減量化・再資源化や環境美化などについては、これまでも様々な取組みが行われてきましたが、引き続き町民・事業者・行政がそれぞれの役割を明確にしなが、より一層環境に配慮した取組みを推進していくことが望まれます。</p>			施策の内容	資源循環を基本的な取組みとし、3R【Reduceリデュース（廃棄物の発生抑制）、Reuseリユース（再利用）、Recycleリサイクル（再資源化）】に町民等が主体的に取組めるような支援を行ないます。また、家庭や事業所から排出される廃棄物の適正処理を確保するとともに、廃棄物の不適正排出や不法投棄の対策を強化し、長期的に安心・安全で環境に与える負荷を低減させるごみ処理体制の確保を図ります。	

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
町民参加型環境講座参加者数	人	20	30	30	30	30	30	2.30	50	1.38
			120	0	29	69		2.30		
リサイクル率	%	23.7	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.91	25	0.91
			23.9	22.6	23.3	22.7		0.91		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	35,053	38,528	54,721	36,729	61,461	61,461

取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩ 今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業種	2	事業	
●成果	A	2事業	(100.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
			平均点
			2.0
●コスト	A	2事業	(100.0%)
	B	事業	(0.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
			平均点
			2.0
●進捗率	A	1事業	(50.0%)
	B	1事業	(50.0%)
	C	事業	(0.0%)
	未実施	事業	(0.0%)
			平均点
			1.5
			平均点
			1.8

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 ・事業の情報発信により、事業促進・ごみ減量化を推進する。 ・町のごみを業者委託により適正に処理し、環境保全を図る。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	5・1・3	評価担当課	町民税務課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	環境保全・美化活動の推進			-	-	-
③ 目標	豊かで住みよい環境に満足している町民の割合					
④ ⑤ 現状と課題	<p>◆ 本町は273.30km²と広大な面積を持ち、その約7割を山林が占め、阿武隈川やその支流は、多くの優れた自然資源の宝庫となっています。この豊かな自然環境は、人々の生活に潤いを与えるだけでなく、自然とのふれあい、学習、レクリエーションの場としても様々な役割を担っており、保全に努めていく必要があります。</p> <p>◆ 潤いのある生活を営んでいくためには、公園・緑地などの身近な緑の適正な維持管理や、良好な景観の保全と創出が求められています。</p> <p>◆ ごみの減量化・再資源化や環境美化などについては、これまでも様々な取り組みが行われてきましたが、引き続き町民・事業者・行政がそれぞれの役割を明確にしながら、より一層環境に配慮した取組みを推進していくことが望まれます。</p>			施策の内容	地域の特性や環境資源を生かしながら、町民が主体的に環境保全や美化活動に取り組むことができる支援を行います。また、「環境基本計画」に掲げる町を目指すとともに、環境教育・環境学習の充実を図り、環境の保全と創造に主体的に取り組む人材を育てます。	

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
一斉清掃活動参加者数	人	2,489	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	0.56	2,700	0.56
			2,351	0	2,297	1,520				
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	3,335	3,498	4,586	4,101	4,830	4,830

取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩ 今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業種	6	事業	平均点
●成果	A	4事業 (66.7%)	1.5
	B	1事業 (16.7%)	
	C	1事業 (16.7%)	
	未実施	事業 (0.0%)	
●コスト	A	4事業 (66.7%)	1.7
	B	2事業 (33.3%)	
	C	事業 (0.0%)	
	未実施	事業 (0.0%)	
●進捗率	A	3事業 (50.0%)	1.5
	B	3事業 (50.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
	未実施	事業 (0.0%)	
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.6

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 ・町民が主体的に環境保全や美化活動に取り組むことができる支援策として、引き続き子ども向けの環境学習や各地区公衆衛生組合への活動支援等を実施していく。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	5・2・1								
② 施策名	先進的な省エネルギー化の推進	評価担当課	総務課	総合戦略	行政経営	過疎	-	-	○
③ 目標	自然や木々の緑の豊富さに満足している町民の割合								
④ 現状と課題	<p>◆ 地球温暖化、オゾン層破壊、天然資源の枯渇、廃棄物の増加など様々な環境問題を背景に、環境に配慮した取組みが以前にも増して強く求められています。</p> <p>◆ 化石燃料の使用拡大が地球温暖化に大きな影響を与えるといわれる中で、環境への負荷が少ない再生可能エネルギーが注目されています。自然環境に恵まれている本町にあっては、地球温暖化への影響が最も大きいとされる二酸化炭素を吸収する森林の保全・育成とともに、潜在的なエネルギーの活用について検討し、環境負荷の軽減に努めていくことが必要です。</p> <p>◆ 近年急激に進む人口減少や高齢化の影響を受け、荒廃した山林や耕作放棄地などが増加していますが、こうした土地を適正に管理するため、「国土利用計画」を見直し豊かな自然環境の保全に努めていく必要があります。</p>			施策の内容	低炭素社会の実現と限りある資源の有効利用のため、行政が率先して環境に配慮した取組みを進めるとともに、町民一人ひとりの省エネルギーへの意識の向上と行動の重要性について広く町民に呼びかけ、周知を図っていきます。				

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
公共施設等のエネルギー使用量の削減率	%	-	2.0	2.5	2.5	2.5	2.5	7.16	2.5	7.16
公共施設の省エネルギー化率	%	10.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.72	20	0.72
			14.1	13.2	14.6	14.4		0.72		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦ 構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	0	0	0	172,256	675,344	0

取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨ 施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩ 今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業別	1	事業	平均点
●成果	A	1事業 (100.0%)	2.0
	B	事業 (0.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
		未実施 事業 (0.0%)	
●コスト	A	1事業 (100.0%)	2.0
	B	事業 (0.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
		未実施 事業 (0.0%)	
●進捗率	A	1事業 (100.0%)	2.0
	B	事業 (0.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
		未実施 事業 (0.0%)	2.0

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

⑪ 次年度以降の方針(主担当課)	縮小	【説明欄】 環境基本計画でも定めている施策であり、低炭素社会の実現に向けて事業推進を図る必要があるとともに、老朽化した空調設備の維持費用が増加してきていることから、環境に配慮した空調設備への改修を進める。
委員会評価	完了	【委員会意見欄】 事業が令和5年度で完了するため。

施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	5・2・2	評価担当課	町民税務課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	再生可能エネルギーの導入推進			○	-	○
③ 目標	自然や木々の緑の豊富さに満足している町民の割合			住宅用太陽光発電設備に対する補助金の交付等により一般家庭や事業所における、環境にやさしく、分散型によるエネルギー供給が可能な再生可能エネルギーの導入を推進します。また、地域の特性を活かした再生可能エネルギーの導入を町民が主体となって検討することで、地域が抱える課題解決への一助となるように事業の取組みを支援します。		
④ 現状と課題	◆ 地球温暖化、オゾン層破壊、天然資源の枯渇、廃棄物の増加など様々な環境問題を背景に、環境へ配慮した取組みが以前にも増して強く求められています。 ◆ 化石燃料の使用拡大が地球温暖化に大きな影響を与えるといわれる中で、環境への負荷が少ない再生可能エネルギーが注目されています。自然環境に恵まれている本町にあっては、地球温暖化への影響が最も大きいとされる二酸化炭素を吸収する森林の保全・育成とともに、潜在的なエネルギーの活用について検討し、環境負荷の軽減に努めていくことが必要です。 ◆ 近年急激に進む人口減少や高齢化の影響を受け、荒廃した山林や耕作放棄地などが増加していますが、こうした土地を適正に管理するため、「国土利用計画」を見直し豊かな自然環境の保全に努めていく必要があります。					
⑤						

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
導入検討個別部会設置数	件	0	5	5	5	5	5	0.00	8	0.00
			1	0	0	0		0.00		
再生可能エネルギー事業取組み数	件	0	2	2	2	2	2	0.00	4	0.00
			1	0	0	0		0.00		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI			目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
導入検討個別部会設置数	件	0	5	5	5	5	5	0.00	8	0.00
			1	0	0	0		0.00		
再生可能エネルギー事業取組み数	件	0	2	2	2	2	2	0.00	4	0.00
			1	0	0	0		0.00		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	2,933	1,529	2,390	879	2,500	2,500

取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩ 今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業	1	事業	達成率	平均点
●成果	A	事業	(0.0%)	1.0
	B	1事業	(100.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
●コスト	A	1事業	(100.0%)	2.0
	B	事業	(0.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
●進捗率	A	1事業	(100.0%)	2.0
	B	事業	(0.0%)	
	C	事業	(0.0%)	
	未実施	事業	(0.0%)	
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出				1.7

⑪ 次年度以降の方針 (担当課)	現状維持	【説明欄】 ・環境基本計画でも定めている施策であり、低炭素社会の実現に向けて、事業推進を図る。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	5・2・3	評価担当課	企画財政課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	土地利用の合理化、町土の保全			-	-	-
③ 目標	自然や木々の緑の豊富さに満足している町民の割合					
④ 現状と課題	<p>◆ 地球温暖化、オゾン層破壊、天然資源の枯渇、廃棄物の増加など様々な環境問題を背景に、環境へ配慮した取組みが以前にも増して強く求められています。</p> <p>◆ 化石燃料の使用拡大が地球温暖化に大きな影響を与えるといわれる中で、環境への負荷が少ない再生可能エネルギーが注目されています。自然環境に恵まれている本町にあっては、地球温暖化への影響が最も大きいとされる二酸化炭素を吸収する森林の保全・育成とともに、潜在的なエネルギーの活用について検討し、環境負荷の軽減に努めていく必要があります。</p> <p>◆ 近年急激に進む人口減少や高齢化の影響を受け、荒廃した山林や耕作放棄地などが増加していますが、こうした土地を適正に管理するため、「国土利用計画」を見直し豊かな自然環境の保全に努めていく必要があります。</p>		施策の内容	本町の計画的な土地利用を推進するため、「国土利用計画」を策定し適正に誘導します。また、乱開発を防止し、緑豊かな環境を保全するため関係法令に基づいた適正な規制・指導を行います。		

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
自然的土地利用面積(農地、森林、原野、河川等)	ha	22,954	22,855	22,831	22,645	22,151	22,755	7.49	22,755	7.29
			22,746	22,664	22,167	165,840		7.29		
							#DIV/0!			#DIV/0!
							#DIV/0!			#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	0	0	0	120	120	120

取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨ 施策の進行管理(構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩ 今後の取組	「略」	

構成事務事業の評価結果

事務事業別	2	事業	平均点
●成果	A	1事業 (50.0%)	1.5
	B	1事業 (50.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
	未実施	事業 (0.0%)	平均点
●コスト	A	2事業 (100.0%)	2.0
	B	事業 (0.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
	未実施	事業 (0.0%)	平均点
●進捗率	A	1事業 (50.0%)	1.5
	B	1事業 (50.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
	未実施	事業 (0.0%)	平均点
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.7

⑪ 次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	【説明欄】 本町の計画的な土地利用を推進するため、「丸森町国土利用計画(第4次)」に基づき適正に対応します。また、太陽光や風力発電等再生可能エネルギー施設の設置に関しては、防災上及び自然・生活環境に及ぼす影響等を注視し、引き続き、開発計画の状況等把握に努め、乱開発に繋がらないよう、県等と連携した対応を行います。また、乱開発を防止し、緑豊かな環境を保全するため関係法令に基づいた適正な規制・指導を行います。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。